プロパンガスは、正しく使用しましょう。
「安全点検」無事故で笑顔の楽しい暮し…

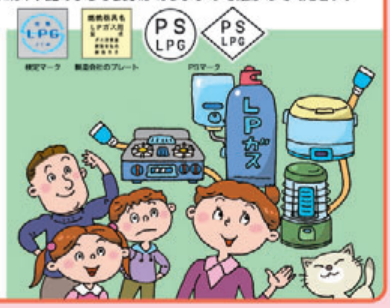
容器は正しく取付けましょう

◆直射日光の当たらない場所に置きましょう。
◆やむを得ず日当たりのよい場所に置くときは、おおいをつけて、直射日光をさけましょう。また、寒いところや雪が多いところでは、容器小屋や雪がこいなどの設備対策も必要です。
◆転倒防止用のクサリをつけましょう。
◆腐食防止のため、コンクリート板などの台に置きましょう。

器具は「LPガス専用」を使いましょう

◆新しいガス器具をお使いになる前に、LPガス専用であることを確認してください。
◆LPガス用の器具には、下記のような表示がありますので確かめてください。

◆ご使用の前には、使用上の注意や取扱説明書をよく読んでから、正しく使用してください。
◆LPガス用の器具は全国どこでも共通です。
◆都市ガス用の器具は使用できません。

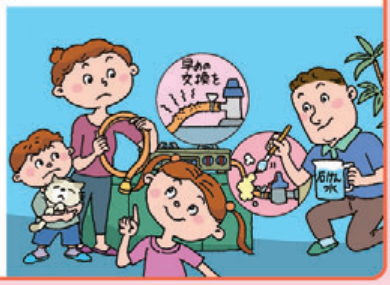


ガスが漏れたときは、すばやい対応を

◆室内の火は全部消し、マッチをすったりタバコなどを吸わない。
◆器具栓・ガスの元栓などを閉めてください。
◆発火の原因となるので、コンセントや電気のスイッチには触れない。換気扇は絶対にまわさない。(回っている換気扇はそのままにしておく。)
◆とびらや窓などを十分に開けて、風通しをよくして、ガスを自然に追い出す。
◆販売店に連絡をして、点検を受けるまでガスを使わないようにしましょう。

ゴム管は時々点検しましょう

◆LPガス専用のオレンジ色のゴム管を使用してください。(取替えは2~3年を目安に。)
◆ゴム管は、ガスの元栓の赤い線のところまで十分に差し込み、ホースバンドでしっかり止めてください。
◆ゴム管を長くしたり、物かげに通したり、折り曲げたりしないでください。
◆ゴム管からのガス漏れの点検は、石けん水をゴム管に塗って、アワが出るか調べてください。アワが出た場合は、ただちにゴム管を交換してください。



いつも青い炎で使いましょう

◆ガスコンロの目詰まりや、排気筒や給気口の詰まりなどは、不完全燃焼をおこし、一酸化炭素中毒の原因にもなり大変危険です。時々、ブラシなどで掃除してください。

※完全燃焼…安定した青い炎で燃えます。
※不完全燃焼(空気不足)…黄赤色の炎で、ゆらゆらとして勢いよく燃えません。
※不完全燃焼(空気過多)…ゴーッと音を出し、炎が飛んで消えることがあります。

火がついたことを必ず目で確かめましょう

◆自動点火の器具は、つまみをゆっくり回すようにし、ボタン式はやさしく押しましょう。
◆マッチなどで点火する場合は、マッチなどに点火してから器具栓を開いてください。
◆風や煮こぼれなどで火が消えたり、天ぷらを揚げるときなど、鍋の油に火がつくことがあります。ガスを使っているときは、その場を離れないようにしましょう。(離れるときは火を消しましょう。)
◆ガス器具のそばには、燃えやすいものを置かないようにしましょう。